

第22回総会 決議事項

連帯への呼びかけ

第22回総会議員として私達は、世界のSSNDと共に、国際修道会として現在を本会の歴史における新たな時として心に抱きます。すべての被造物との連帯に呼ばれ、私達は個人としても、共同体としても私達の存在と持てる全てをイエス・キリストの使命を生きるために賭ける覚悟です。

You are Sent (会憲 一般指針)と21回総会の 変容への使命を堅固な土台とし、私達の国際性、世界の変容を目指す教育使徒職、ユ-カリストを、新たな方法で私達の生活の中心とすることを宣言します。

国際性

私達の国際性の中に私達の間でまた全被造物と共に、相互に依存して活動する新しい潜在力があることを認めます。連帯の核心である一致を大切に、使命遂行のため私達の国際性の中に、私達の間で、また、全造物と共に、相互に依存して本会内統治機構再編成をためらわず行います。与え、受け、全体の為の最善を選ぶため すべてを共有します。文化は多様ですが、使命において一致し、共通善のために決定を行います。

変容を目指す教育

教育こそが被造物の\叫びにこたえる私達の対応であり、全てのものとの連帯の具体的な表現であることを、あらためて確信します。それゆえに、全てのための教育、特に底辺におかれ忘れ去られた人々のための教育を推進します。可能ならばどこへでも、世界のいたるところで使徒職の連携をします。私達のカリスマと霊性を分かち合いつつ、あらゆるレベルで他の人々と共働します。未来に向けて共に使命を遂行していくのです。

ユ-カリスト

私達は、ユ-カリストを祝い、かつそれを真摯に生きていきます。宇宙的広がりをもって、ユ-カリストは私達を変容させ、何度も何度も、私達に相互のそして全被造物との和解と連帯を呼びかけます。霊性における御父へのキリストの自己犠牲にあわ

せ、祝され、割かれ、分かち合われるパンとして、世のいのちの為に自分の生命をかける覚悟です。

心に喜びを感じつつ、私達は感謝をこめて、この連帯への呼びかけに共に応え、行動することを誓います。

2007年10月24日

ノートルダム教育修道女会として恵みの歴史の175年目に当たって。

第22回総会コンセンサスにより承認

2007年10月23日 São Leopoldo, Brazil. において